教育課程に活かせる！
「主体的・対話的で深い学び」の展開例

国立那須甲子青少年自然の家

INDEX

小学校１・２年生向け

- 森へ行こう（1・2年生生活科）
- 葉っぱを集めてラミネート（1・2年生図画工作科）

小学校３・４年生向け

- 写してコラージュ（3・4年生図画工作科）
- 住みよいくらしをつくる「水はどこから」（4年生社会科）
  【地域連携】堀川ダム・芝原浄水場

小学校５・６年生向け

- わたしたちの生活と食料生産「米づくりのさかんな地域」（5年生社会科）
  【地域連携】グリーンツーリズムしらかわ
- 森林とわたしたちのくらし（5年生社会科）
  【地域連携】森の案内人（南湖公園）
- 結んでつないでタペストリー（5・6年生図画工作）
- 日本の歴史「縄文のむらから古墳のくに」（6年生社会科）
  【地域連携】福島県文化財センター白河館（まほろん）
- 生物と地球環境「森林の生物と自然環境」（6年生理科）
  【地域連携】エコシステムアカデミー（三菱製紙株式会社）
- 大地のつくりと変化（6年生理科）
- スノーシューハイキングによる体力つくり（5・6年生体育科）
- 食べて元気に（5年生家庭科）

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

▶1・2年生活科　森へ行こう

※関連教科　図工科生活科１・２年「葉っぱを集めてラミネート」」

何を学ぶか

単元の目標　**森の中を観察したり、森の中にある素材を使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づくことができる。**

▶学習の過程と流れ

どのように学ぶか

学校での学習【2時間】

課題の把握

① 森の中での遊びの経験を発表し、どんな遊びができるか話し合う。
- 森の中はどんなところか、どんなものがあるか出し合う。
- 遊びのルールを確認し合う。

② 作品やおもちゃつくりに使える素材にはどんなものがあるか考え、話し合う。

施設での学習【3時間】

課題の追究

③ 森の中で遊ぶ。
- 遊んでよい場所や遊びを確認し、ルールに従って仲良く遊ぶ。

④ 作品やおもちゃづくりに使えるものを集める。
- アクティビティーに必要なものを集める。

⑤ 作品やおもちゃづくりを行う。
- 工夫したところや難しかったところ、楽しかったことを発表し合う。

学校での学習【1時間】

課題の解決

⑥ 手紙を書いて交流する。
- お世話になった人へのお礼の手紙や楽しかったことを家族に伝える手紙を書く。
- お互いの手紙を交流し合う。

▶育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	葉っぱの形や色を組み合わせたり、つないだりしながら、自分らしい作品を作り上げることができる。
思考力・判断力・表現力	葉っぱから想像を膨らませ、作品の構想を練ることができる。
学びに向かう力	自分の好きな葉っぱをたくさん集めて、意欲的に製作に取り組もうとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

▶1・2年図画工作科　葉っぱを集めてラミネート

※関連教科　生活科１・２年「森へ行こう」

何を学ぶか

単元の目標　**葉の形や色、葉脈などを観察し、木や葉に対する興味・関心をもち、意欲的に造形活動に取り組むことができる。**

▶学習の過程と流れ

どのように学ぶか

施設での学習【1時間】

課題の把握

①　すてきな葉っぱを集めよう。

・　落ち葉の形や色の不思議や美しさに気づき、気に入った葉っぱを集める。

・　集めた葉っぱを押し葉にし、乾燥させる。

学校での学習【2時間】

課題の追究

②③　葉っぱのアートをラミネートする。

・　葉っぱをパウチシートの上へ並べたり、組み合わせたりしながら自分の気に入った形を作る。

・　形ができあがったら、ラミネートする。

学校での学習【1時間】

課題の解決

④　好きな場所に飾って鑑賞する。

・　作品を好きな場所に飾って、自分や友達の作品を鑑賞し合う。

▶育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	葉っぱの形や色を組み合わせたり、つないだりしながら、自分らしい作品を作り上げることができる。
思考力・判断力・表現力	葉っぱから想像を膨らませ、作品の構想を練ることができる。
学びに向かう力	自分の好きな葉っぱをたくさん集めて、意欲的に製作に取り組もうとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

3・4年図画工作科　写してコラージュ

なすかしの森 活動プログラム／森林学習（造形活動）

何を学ぶか

単元の目標　**自然の中にあるものをこすりだすことによって、普段何気なく見ているもの（葉っぱ、木の幹、土、石、岩など）に興味・関心をもち、意欲的に表現することができる。**

どのように学ぶか

学習の過程と流れ

学校での学習【1時間】

課題の把握

① 各自のテーマを決め作品の構想を練る。
- テーマを決める。
- 参考作品をもとに、自分が使う材料について考える。

施設での学習【3時間】

課題の追究

② こすりだしで自然を写し取る。
- こすりだしの技法(フロッタージュ)で自然にあるものを写し取る。
- 写したいものの上に薄い紙を置き、色鉛筆、コンテ、クレパスなどでこすりだす。

③④ 写し取ったもので切り絵をつくる。
- 写し取ったものを切ったり、ちぎったりしながら切り絵(コラージュ)をつくる。

施設での学習【1時間】

課題の解決

⑤ 鑑賞会をする。
- 作品のそばに鑑賞カードを置き、みんなで作品のコメントを書いて回る。

何ができるようになるか

育成する資質・能力

知識・技能	こすりだしたものを切ったり、ちぎったり、貼り方を工夫したりしながら、作品を作り上げることができる。
思考力・判断力・表現力	こすりだしたものから発想して、作品全体のイメージを構想することができる。
学びに向かう力	自然の中にある面白いものに関心をもち、こすりだしの技法で意欲的に写し取ろうとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

▶4年社会　住みよいくらしをつくる　　小単元名「水はどこから」

なすかしの森 活動プログラム ／ 沢歩き～堀川ダム見学～芝原浄水場見学

何を学ぶか

単元の目標

○ **人々の生活にとって必要な飲料水の確保の事業は、組織的・計画的に進められていることを理解し、健康的な生活の向上のために自分ができることに進んで取り組もうとする。**

○ **飲料水を確保するための事業や施設・設備の様子を調査したり、見学したりして調べ、地域の人々の健康の維持向上に役立っていることを考える。**

▶学習の過程と流れ

どのように学ぶか

課題の把握

学校での学習【4時間】

①　生活の中での水の使われ方について
②　水の循環について
③④　見学学習の計画立案
・　見学学習の計画を立てるだけでなく、沢歩きコースを散策する留意点や本施設の利用の仕方についても触れるようにする。

課題の追究

施設での学習【5時間】

⑤⑥　水のふるさと
（当施設キャンプ場沢歩きコース～堀川ダム）
⑦　ダムの働き（堀川ダム見学）
⑧　きれいな水をつくるために、安全でおいしい水をつくるために（芝原浄水場見学）
・　浄水場の見学等をとおして、川の水をきれいで安全な水にする浄水場の仕組みと意義を理解する。
⑨　見学学習のまとめと当施設見学
・　次年度の利用を踏まえ、施設の見学をする。

課題の解決

学校での学習【3時間】

⑩　安全でおいしい水をつくるために
⑪　大切な水をくり返し使うくふう
⑫　単元学習のまとめ

▶育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	地域に人々に住みよいくらしを支えるために、飲料水の確保が組織的・計画的に行われていることがわかる。
思考力・判断力・表現力	飲料水の確保が組織的・計画的に進められていることによって、地域の人々の健康な生活の維持と向上が図られていることを考えることができる。
学びに向かう力	生活で使われている水に関心をもち、見学や調査活動を通して飲料水の確保について意欲的に調べようとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

▶5年社会　わたしたちの生活と食料生産「米づくりのさかんな地域」

なすかしの森 活動プログラム ／ グリーンツーリズムしらかわとの連携

何を学ぶか

単元の目標

○ 我が国の稲作について、国民の食生活を支えていること、稲作に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどについて調査したり地図や資料などを活用したりして調べ、それらは国民の主食である米を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考え、表現する。

どのように学ぶか

▶学習の過程と流れ

課題の把握

学校での学習【3時間】

①オリエンテーション
○食料品の産地のさがしをし、気づいたことを話し合う。→食材がどこでどのようにつくられているか調べるためのテーマを設定する。
②写真や統計資料から、庄内平野がどのようなところなのかを読み取り、わかったことを発表し合い、追究課題を立案する。
○米づくりのさかんな庄内平野では、よりよい米を消費者に届けるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。

課題の追究

学校での学習【7時間】

④庄内平野で米作りがさかんなわけを調べる。
⑤⑥庄内平野の農家の米作りの仕事について調べ、農事歴にまとめる。（インターネット等）
⑦米作りにかかわる行事や文化について、資料をもとに調べる。
⑧農家の人たちが、様々な形で協力しながら米作りに取り組んでいることを調べ、そのわけを考える。
⑨米作りの工夫や努力を支える仕組みについて分かったことを話し合う。
⑩生産された米が消費者に届けられるまでの様子を調べ、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどについて考える。

課題の解決

施設での学習【3時間】

⑪⑫グリーンツーリズムしらかわ（里山クラブ）の方から話を聞き、米作りの現状を知る。
・田んぼの見学（農業体験）
・工夫や努力していることについて
⑬これまでの学習をもとに、日本の米作りを元気にするための提案について意見を出し合う。

何ができるようになるか

▶育成する資質・能力

知識・技能	我が国の農業や水産業に関心を持ち、これらの産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環と深い関わりを持って営まれていることを理解する。
思考力・判断力・表現力	我が国の農業や水産業の様子から学習問題を見いだし、地図や地球儀、統計などの各種の資料を活用し調べてまとめるとともに、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりを持って営まれていることについて思考・判断したことを、適切に表現する。
学びに向かう力	我が国の農業や水産業に関心を持ち、庄内平野や静岡県を事例として意欲的に調べるとともに、国民生活を支える食料生産の発展を具体的に考えようとする。

5年社会　森林とわたしたちのくらし

なすかしの森 活動プログラム ／ 森林学習：森の案内人（研修指導員）の活用

何を学ぶか

単元の目標

- ○ **日本の森林資源の現状に関心をもち、森林資源を大切にしようとする。**
- ○ **森林資源が私たちの生活や産業と密接な関係をもっていることや森林資源を守るためにはどうすればよいかを考える。**
- ○ **新聞記事や各種統計資料などをもとに日本の森林資源の現状や抱える問題を調べ、パンフレットにまとめることができる。**
- ○ **森林資源が国土の保全や水源の涵養のために重要な働きをしていることを理解する。**

どのように学ぶか

学習の過程と流れ

課題の把握（施設での学習【３時間】）

①②　森の案内人（研修指導員）の案内で源流から施設の周りの森林を散策する。

③　森林とわたしたちの暮らしの関わりについて考える。（学習計画の立案）

課題の追究（学校での学習【４時間】）

④　森林のはたらき
・日本の森林の現状を知る。

⑤⑥　木を育てる仕事
・林業に関わる人の話を聞き、問題点を考える。

⑦　伝統的な炭焼き
・森林を継承して使用する知恵に気づく。

課題の解決（学校での学習【２時間】）

⑧　自然環境を守る。
・　自然環境が様々な人たちの努力で守られていることを努力する。

⑨　森は海の恋人
・　森林と海が河川をとおしてつながっていることを理解する。

何ができるようになるか

育成する資質・能力

知識・技能	写真や表・グラフなどの資料をもとに、日本の森林の現状をつかむことができる。
思考力・判断力・表現力	森林がもつ自分たちの生活との多面的な機能について考える。 森林資源の育成に従事している人々の工夫や努力について考える。
学びに向かう力	自分たちの生活と森林の働きや森林資源の関係に関心をもち、意欲的に調べようとする。

5・6年図画工作科 結んで つないで タペストリー

なすかしの森 活動プログラム／森林学習（地域素材）

何を学ぶか

単元の目標

形や色、素材の特徴や構成の美しさを感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表現することができる。

どのように学ぶか

学習の過程と流れ

課題の把握

学校での学習【1時間】

① 各自のテーマを決め作品の構想を練る。
- テーマを決める。
- 作品製作の材料や道具について考える。

課題の追究

施設での学習【3時間】

② 木の枝やつるや流木を集める。
- 森の中や川を散策し、木の枝やつるや流木など、タペストリーの材料になる自然素材を集める。

③④ 作品を製作する
- 木の枝やつるや流木などを配置して、作品の形をイメージする。
- ひもや針金や毛糸などを使ってつなげていく。

課題の解決

施設での学習【2時間】

⑤⑥ 森の中に飾って、鑑賞会をする。
- **森の中の最適な場所に作品を展示する。**
- **自然に溶け込んだ作品として写真に撮る。空気とのかかわり**
- **鑑賞カードにコメントを記入し、お互いのよさを伝え合う。**

何ができるようになるか

育成する資質・能力

知識・技能	木の枝やつるや流木をひもや針金でつなぎ、タペストリーの作品に仕上げることができる。
思考力・判断力・表現力	自分の集めてきた木の枝やつるや流木を並べたりつないだりして、タペストリーの構想を練ることができる。
学びに向かう力	自分の作品に使いたい木の枝やつるや流木などを意欲的に集めようとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

▶6年社会　日本の歴史「縄文のむらから古墳のくに」

なすかしの森 活動プログラム／歴史学習：福島県文化財センター白河館（まほろん）との連携

何を学ぶか

単元の目標

狩猟・採集や農耕の生活、古墳，国の形成に関する考え方に関心をもち、豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたこと、各地に支配者が出現し、やがて大和朝廷による　国土が統一されていったことが分かるようにする。

どのように学ぶか

▶学習の過程と流れ

学校での学習【1時間】

課題の把握

①　歴史学習オリエンテーションをする。
- ○　知っている人物、遺産、出来事について
- ○　年表の見方について
- ○　歴史を学ぶ視点について
  - ・わたしたちの祖先がどのような願いをもってくらしていたのか。
  - ・どのようにしてわたしたちの国をつくってきたのか.

学校での学習【6時間】

課題の追究

②縄文時代の人々のくらしについて調べ、話し合う。
　○狩猟・採集・栽培・移住生活

③縄文時代と弥生時代の人々のくらしの様子を比べて疑問を出し合い学習問題をつくり、予想を話し合い、学習計画を立てる。
学習テーマ「米作りが始まって人々のくらしはどのように変わっていったのだろう。」

④年表や資料などをもとに、米作りが始まった頃の人々のくらしについて調べる。

⑤調べたことをもとに、くらしの変化について話し合う。
　○着るものの変化　○食料の変化　○住まいや道具の変化
　○定住生活　　○指導者としての「かしら」登場

⑥吉野ヶ里遺跡の概観を調べ、当時の集団生活やムラのまとまりの様子を話し合う。
　○ムラのおこり　→　ムラからクニへの変化

⑦国の成り立ちについて調べ、話し合う。
　○大仙古墳について　○前方後円墳の分布について
　○大和朝廷について

施設での学習【3時間】

課題の解決

⑧⑨福島県文化財センター白河館での見学学習を行う。
　○竪穴式住居・生活用品など
　○縄文式土器・狩猟道具など
　○弥生式土器・農耕道具など
　○古墳時代の装飾品など

⑩小単元のまとめをする。（施設）
　○これまでの学習と見学学習をもとに、壁新聞づくりを行う。

※時間の余裕がある場合、土器つくりや勾玉つくりなどの体験を行っても面白い！

何ができるようになるか

▶育成する資質・能力

知識・技能	米作りが始まったことで人々は定住生活をするようになり指導者としてのかしらが出現しムラが誕生した。そして、食料確保のためにムラ同士が争い大きなクニ へとまとまっていったことを理解することができる。年表や文書資料などを活用し 米作りが始まる前後の人々のくらしについて調べることができる。
思考力・判断力・表現力	米作りが始まったことによる人々の生活の変化について考えたことを表現することができる。
学びに向かう力	大昔のくらしに関心をもち，米作りが始まった頃の人々のくらしについて意欲的に調べようとする。

▶6年理科　生物と地球環境「森林の生物と自然環境」

なすかしの森 活動プログラム／森林学習（エコシステムアカデミーとの連携）

何を学ぶか

単元の目標

動物や植物を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境との関わりについて考えをもつことができる。

- **生物は、水及び空気をとおして周囲の環境と関わって生きていること。**
- **生物の間には、食う食われるという関係があること。**

▶学習の過程と流れ

どのように学ぶか

課題の把握

学校での学習【1時間】

① 森林の生物と自然環境について学習課題をもつ。
- 森林の生物が自然環境とどの様にかかわっているのかを話し合う。
- 「水」、「空気」、「食べ物」の中から調べたいテーマを選ぶ。

課題の追究

施設での学習【3時間】

②③ 選んだテーマごとに追究する。
- エコシステムアカデミー（研修指導員）の案内で施設の周りの森林や沢、川を散策し、各自の課題を追究する。

④ 調べたことをまとめる。
- 調べたことを説明図やかべ新聞にまとる。

※時間の余裕がある場合、エコシステムアカデミーの指導で「紙すき体験」を入れることも可能。

課題の解決

学校での学習【2時間】

⑤ 自分が調べたテーマについて発表する。
- 水とのかかわり
- 空気とのかかわり
- 食べ物とのかかわり

⑥ 森林環境を守る取り組みについて知る。
- 動植物の保護について

▶育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	生物は森林とかかわりながら、生きていることを理解することができる。 森林における生物と環境のかかわりについて、資料をもとに調べていくことができる。
思考力・判断力・表現力	森林における生物と環境のかかわりについて、総合的に考えることができる。
学びに向かう力	生物が森林と関わり合って生きていくことに生命のたくみさやすばらしさを感じ、 森林とのつながりを総合的に調べようとする。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

6年理科　大地のつくりと変化

なすかしの森 活動プログラム ／ 地層学習 (地域素材の活用)

何を学ぶか

単元の目標

土地のつくりやでき方について興味・関心をもって追究する活動を通して、土地のつくりと変化を推論する力を育てるとともに、それらについての理解を図り、土地のつくりと変化についての見方や考え方をもつことができるようにする。

学習の過程と流れ

どのように学ぶか

課題の把握

学校での学習【２時間】

①②　自分の小学校の地面の下を想像し、学習課題をつかみ、学習計画を立てる。

・自由に想像し、予想を出し合う。
・身近な場所の地層をもとに、どれも縞模様に見えることを確認し、その理由を話し合う。
・学習テーマについて話し合う。

【学習テーマ】
〇なぜしま模様になっているのだろう。
〇しまを作っている物をくわしく調べよう。

課題の追究

学校での学習【８時間】

追究テーマ１･･･流れる水の働きによって、地面に地層はできるのだろうか。
④堆積実験によって確かめる。

追究テーマ２･･･火山の働きによって、地層はできるのだろうか。
⑤⑥スライドの視聴や土に含まれる構成物の成分を調べることによって確かめる。

追究テーマ３･･･自分の小学校の地面の下はどんな地層が広がっているのだろうか。
⑦ボーリングサンプルを確認し、自分の小学校の土地の重なりを確かめる。

追究テーマ４･･･地震によってどんな土地の変化が起こるのだろうか。
⑧⑨資料 (インターネットや本) を下に地震による土地の変化を調べ、確かめる。

追究テーマ５･･･他の地層はどうなっているのだろうか。
⑩堆積の仕方を確かめるために、川の見学と地層の見学の計画を立てる。

課題の解決

施設での学習【３時間】

⑪　阿武隈川上流部の堆積の仕方を調べる。
⑫　川谷地区内の地層を調査する。
⑬　調査学習のまとめをする。。

育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあることを理解することができる。ボーリングの資料や映像資料などを活用したり、安全に野外観察を行ったりしながら、土地のつくりと変化の様子について工夫して調べることができる。
思考力・判断力・表現力	土地の様子や構成物などから、土地のつくりと変化のきまりについて予想や仮説をもち、推論しながら追究し、表現することができる。
学びに向かう力	土地をつくったり変化させたりする自然の力の大きさを感じ、生活している地域の特性を見直そうとしている。

5・6年体育科 体つくり運動「スノーシューハイキングによる体力つくり」

なすかしの森 活動プログラム／冬期間に施設を活用した学習

何を学ぶか

単元の目標

活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、自己の体力を高めることができる。
○協力、公正などを意識しながら、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動することができる。
○各活動でのけがの防止について理解し、楽しく安全に運動に取り組むことができる。

どのように学ぶか

学習の過程と流れ

課題の把握

学校での学習【５時間】

①体力を高める運動のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。また、体力を高める運動の仕方を知り、試しの運動をする。

課題の追究 1

②～⑤ 体力を高める運動をする。
- 体ほぐしの運動
- 体力を高める運動

課題の追究

施設での学習【４時間】

⑥オリエンテーションにより、学習めあてや活動内容を確認する。
（1）学習めあてを確認する。

【学習めあて】

○スノーシューの使い方に慣れ、森の中を工夫して歩き回ろう。

（2）スノーシューの準備をする。
- サイズ合わせとセットの仕方を確認する。

（3） ウォーミングアップをする。
- 準備運動をする。
- スノーシューを履き歩行練習をする。

⑦⑧ スノーシューで森の中に入り、自然散策をする。
- スムーズに歩行できるよう工夫する。
- 夏山と冬山の景色の違いに気付く。（理科との関連）
- 雪山に住む動植物の生態系に気付く。（理科との関連）

⑨ 活動をふりかえり、本時のまとめをする。
（1） スノーシューの片付けをする。
（2） ワークシートに記入し、感想を発表する。

課題の解決

学校での学習【１時間】

⑩単元のまとめをする。
- これまで取り組んできた成果を確かめる。
- 今後の計画を立てる。

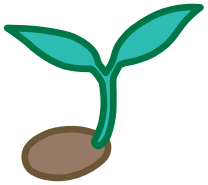
何ができるようになるか

育成する資質・能力

知識・技能	自然の中（雪中）での活動に伴う危険について考え、けがや事故を未然に防ぐ方法やその対応の仕方を理解することができる。雪の中の運動の楽しさや心地よさを味わうために、必要な技能を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力	スノーシューを履いた際の歩き方を工夫するとともに、友だちと協力しながら活動することができる。
学びに向かう力	自分から進んで楽しく活動し、雪国に住む人の知恵と体力を体で感じることができる。

「主体的・対話的で深い学び」の展開例

5年家庭科　食べて元気に



なすかしの森 活動プログラム／野外炊事＜米飯 A＞、＜米飯 B＞、＜豚汁セット＞

何を学ぶか

単元の目標

毎日に食事や使われている食品に関心を持ち、バランスを考えた食事をしようとする。

・食品の栄養的な特徴や食品の組み合わせに関心を持つ。

・ご飯とみそしるに関心を持ち、調理することができる。

学習の過程と流れ

どのように学ぶか

学校での学習【６時間】

課題の把握

①なぜ食べるのか考えよう

②五大栄養素のはたらき

③３つの食品のグループとそのはたらき

情報の収集と計画（２時間）

④ご飯とみそしるをつくろう

・野外炊事の計画を立てる。

・基本的な調理の仕方について調べる。

施設での学習【４時間】

実践活動

④ご飯とみそしるをつくろう（４時間）

・担当する役割を確認して協力して調理する。

・ナタや包丁等を安全に使う。

・衛生面や環境面に配慮して調理する。

・試食する。

・協力して後片付けする。

学校での学習【１時間】

評価

④ご飯とみそしるをつくろう（１時間）

・野外炊事を振り返り、今後の生活に役立てるための改善点について考える。

育成する資質・能力

何ができるようになるか

知識・技能	伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。
思考力・判断力・表現力	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現すること。
学びに向かう力	家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫すること。